

令和 6 年度溶接技術研修に係る入札可能性調査実施要領

原子力規制委員会原子力安全人材育成センターでは、令和 6 年度溶接技術研修の受託者選定に当たって、一般競争入札（最低価格落札方式）に付することの可能性について、以下の通り調査いたします。

つきましては、下記 1. 業務内容に記載する内容において、的確な業務遂行が可能であり、かつ、当該業務の受託者を決定するに当たり一般競争入札（最低価格落札方式）を実施した場合、参加する意思を有する方は、2. 登録内容について、4. 提出先までご登録をお願いします。

1. 業務内容

1. 1 概要

原子力規制委員会の職員に対して、原子力検査等の職を担うに当たり、溶接構造物の溶接技術、品質管理及び溶接工程の理解と溶接の適否に係る判断について学習することで、原子力機器の溶接技術に係る知識を身に付けることを目的とした研修を実施する。

1. 2 業務の具体的な内容

別添の「令和 6 年度第 1 期、第 2 期溶接技術研修 CT-EG300 仕様書」による。

1. 3 事業期間

契約締結日～令和 7 年 3 月 7 日まで

2. 登録内容

(1)事業者名

(2)連絡先（住所、電話番号、メールアドレス、担当者名）

3. 留意事項

- ・登録後、必要に応じ業務実施計画等の概要を聴取する場合があります。
- ・本件への登録に当たっての費用は事業者負担になります。
- ・本調査は、入札等を実施する可能性を確認するための手段であり、契約に関する意図や意味を持つものではありません。
- ・今後、仕様書の内容について修正される場合があります。
- ・提供された情報は庁内で閲覧しますが、登録者に断りなく庁外に配布することはありません。
- ・提供された情報、資料は返却いたしません。

4. 提出先

〒106-8450 東京都港区六本木1-9-9 六本木ファーストビル 20階
原子力規制委員会 原子力安全人材育成センター 規制研修課
原田 研一 宛て

【電話番号】03-6277-6924

【メールアドレス】harada_kenichi_8ie@nra.go.jp

(登録例)

令和6年〇月〇日

原子力規制委員会
原子力安全人材育成センター
規制研修課 宛

令和6年度溶接技術研修

令和6年〇月〇日付、標記実施要領に従い、以下の事項を登録いたします。

登録内容

① 事業者名 ○○○○○○

② 連絡先

住所 ○○○○○○

電話番号 ○○○-○○○○-○○○○

メールアドレス ○○○○○○○○

担当者名 ○○ ○○

仕様書

1. 件名 令和6年度第1期、第2期溶接技術研修 CT-EG300

2. 目的

本事業は、原子力規制委員会（以下、「本委員会」という）の職員が、原子力検査等の職を担うに当たり、原子力機器の溶接技術に係る知識を身に付けることを目的とする。

3. 対象者（数）

原子力検査等の基本資格を取得しようとする本委員会職員
各期最大6名（必要に応じ、引率者が同行する場合あり。）

4. 実施日（予定）

第1期 令和6年11月19日（火） 9:30 ～ 17:00
11月20日（水） 9:30 ～ 17:00
第2期 令和6年12月18日（水） 9:30 ～ 17:00
12月19日（木） 9:30 ～ 17:00

研修時間には昼休1h＋休憩時間を含む。

上記日時は予定であり、諸般の事情により、変更又は中止することがあるため、実施にあたっては事前に協議して決定する。

5. 研修場所

研修実施者は、本仕様書の研修が実施できる設備、場所を提供することとする。

6. 調達条件及び研修方式

本研修の調達条件としては、受注者が一括して請け負い、本委員会へ役務提供を行うこと。また、本研修で使用する全てのもの（教材等）は受注者の責任で必要数を用意すること。

7. 実施内容

(1) カリキュラムの作成

別表に示す内容を研修時間内にバランス良く組み込んだ「カリキュラム」を作成すること。（項目の順番及び追加の提案も可）

なお、実習を主体とした構成とすること。

(2) 研修テキストの作成

カリキュラムに対応した研修テキストを作成すること。

(3) 理解度テストの作成

研修終了時に行う理解度テストを作成すること。本テストは、あくまでも理解度を確認するためのものであって、研修内容を逸脱した問題を含めないよう配慮すること。

なお、テスト形式は研修テキストの閲覧を不可とし、「○×による正誤問題」、「多肢選択問題」、「多数の選択肢を与えた穴埋め問題」等の客観式テストとし、配点の目安

は、100 点満点で 70 点以上が合格（目標平均点 80 点程度）となるよう設定すること。

(4) 打合せの実施

研修が滞りなく実施できるよう、研修実施前に本委員会担当者と打合せを実施し、万全の体制を整えること。

研修終了後には本委員会担当者と意見交換を実施し、実施内容の振り返りを行うこと。

(5) 研修及び理解度テストの実施

作成したカリキュラム・研修教材のとおり、研修を行うこと。

なお、講義は平易な言葉で行い、受講者を飽きさせない工夫を凝らすことが望ましい。また、研修の終了時に理解度テストを実施し、解答、解説及び質疑応答の時間を設け採点すること。

なお、実施したテストは回収し発注者へ戻すこと。（受講者には渡さない。）

(6) 報告書の作成

本事業に係る終了報告書を作成すること。

報告書には、研修名、日時、場所、受講者、講師、研修実施の具体的内容、溶接試験体検査結果、理解度テスト点数、講師による講評、上記 7. (4) の打合せの結果及び実施内容の振り返りをふまえた今後に向けての改善提案等を記載し、仕様内容を満たしたことを確認できるようにすること。

8. 講師

講師の選定に当たっては、溶接技術に関する研修（別表に相当する内容）の講師経験があり、本業務を行うに十分な力量を有する者であること。（個人情報保護の観点により開示できる範囲で実績を記すこと）。

9. 履行期限

令和 7 年 3 月 7 日（金）

10. 提出書類

| | 提出物 | 数量 | 提出時期 | 備考 |
|---|---|------|---------------|------------------------------|
| 1 | 研修実施体制及び代表講師の経歴（本研修を実施できる十分な体制等があることを判断できる資料を提出すること。） | 1 | 契約締結後速やかに | |
| 2 | カリキュラム（紙・電子データ） | 1 | 契約締結後速やかに | 時間割相当（開始、終了時間が分かるもの。） |
| 3 | 研修資料一式（紙・電子データ） | 各 1 | 各研修 2 週間前までに | 第 2 期において、第 1 期と同じ場合は不要。 |
| 4 | 採点済み理解度テスト答案 | 受講者分 | 各研修終了後 1 週間以内 | |
| 5 | 完了報告書（紙・電子データ） | 1 | 履行期限までに | 講師講評、振り返り、改善提案を含む研修完了報告書を提出。 |

なお、電子データの提出方法については、本委員会担当者と協議の上決定する。

1 1. 送付先等

(1) 提出書類等の送付先は、以下のとおり。

〒106-8450 東京都港区六本木 1-9-9 六本木ファーストビル 20 階
原子力規制委員会 原子力安全人材育成センター 規制研修課
電話：03-6277-6924

(2) 見積書及び請求書の宛名は、以下のとおり。

原子力規制委員会 原子力規制庁 長官官房参事官（会計担当）

1 2. 遵守すべき事項

[個人情報に関するもの]

- (1) 業務上知り得た情報は、秘密保持することとし、目的の範囲を超えて使用、複製、改変をしないこと。また、第三者へ情報提供しないこと。ただし、発注者に事前承認を得た場合はこの限りではない。
- (2) 原則、本契約に係る再委託はしないこと。ただし、発注者に事前承認を得た場合はこの限りではない。
- (3) 漏えい事案が発生した際は、速やかに報告するとともに、適切な管理のために必要な措置を講じ、発注者の行う監査を受け入れること。
- (4) 業務終了後は、受け取った全ての情報を精査し、消去すべき情報は個人情報とともに完全消去を行い、復元不可能な状態にすること。また、媒体がある場合には返却すること。

[上記以外]

- (5) 業務の遂行に当たり、法令等を遵守し履行すること。
- (6) 作成する資料には、公表していない文書又は情報等を含めないこと。
- (7) 遵守事項を違反した場合、本契約を解除するものとし、契約金額の 100 分の 10 に相当する金額を違約金として支払うこと。

1 3. その他

- (1) 受注者は、本仕様書に疑義が生じたとき、本仕様書により難い事由が生じたとき、あるいは本仕様書に記載のない細部については、発注者と速やかに協議した上で取り決めることとする。

(別表)

| 項目 | 内容 |
|--|--|
| 1. 溶接技術、 溶接施工管理 (0.5日) 講義 | (1) 溶接安全教育 (2) 溶接概要 ・溶接の欠点と利点 ・溶接部に発生する欠陥 ・溶接法の分類 ・接合部の呼称 ・溶接姿勢 ・溶接施工計画・管理 (3) 溶接の種類と特徴 原子力機器に使用される溶接方法、溶接材料 ・被覆アーク溶接 ・テイグ溶接 ・ミグ・マグ溶接 ・サブマージアーク溶接 |
| 2. 溶接実習 (0.5日) | (1) 被覆アーク溶接等の溶接実習 (製作した溶接試験体は、講師側で放射線透過試験をして、翌日観察する。) |
| 3. 溶接の品質 管理 (0.5日) 講義 | (1) 原子力機器の品質管理プロセス (2) 溶接施工法、溶接士技量資格の管理 (3) 材料検査 (4) 溶接検査 ・開先面、開先検査 ・溶接作業中検査 ・外観検査 |
| 4. 機械試験 (1.5時間) 講義・実習 | (1) 機械試験の種類と使用 (2) 試験実習 |
| 5. 溶接構造物 の製造工程 (1.5時間) 実習 | (1) 工場での材料搬入から溶接構造物製造ラインを見学し、品質管理との関係を把握する。 |
| 6. 溶接試験体 検査結果の解 説、質疑応答 (1時間) 講義 | (1) 2. の試験体の試験結果の解説 (2) 質疑応答 |
| 7. 理解度テスト | ・理解度テスト (資料閲覧不可、点数化する100点満点) ・解答及び解説 ・質疑応答 (回答用紙は回収する。) |

注：時間数については目安であり、4. に定める研修時間内に納めること。